

ゼロ

0から創る奈良

2013.5.10.FRI

vol.68

市民が主役の奈良市政をめざします。

topic

子育てするなら、奈良！

2013年5月10日 仲川げん後援会

仲川げん

書：紫舟



保育所定員は4年間で657名増に

先日、子どもの日に総務省が発表した統計では子どもの数が1950年以降最少の1649万人となり、32年間連続の減少と報じられました。第2次ベビーブーム世代の後、日本社会は一貫して少子化の流れを歩んできたこととなります。奈良市でも最優先課題として取り組んでいるのが待機児童対策です。この4年間で新設5園（含建設中）に加え、既存園の増改築等により657名分の受入定員を確保、また幼稚園の認定子ども園化（保育園機能の追加）や延長サービス（17時までの預かり）の開始など、あらゆる手段を講じ受入増を図っています。

親しみやすい母子手帳・イクメン手帳を

先日は奈良市の観光特別大使である堂本剛さんがデザインした母子手帳が全国で話題になりました。過去のインタビューの中で「子育てするなら奈良に戻りたい」と仰っていたのを拝見し、直談判で協力をお願いしたところ快諾頂き、今回のリニューアルとなりました。奈良の大きな自然のように、あたたかい雰囲気の中で子育てを楽しんで欲しいという思いで制作しましたが、そもそもなぜ「母子」手帳なのかという疑問が湧いてきました。父親の子育て参加が第二子以降の出生に影響を与えるとも言われており、今年は父子手帳ならぬ「イクメン手帳」を作る事にしました。小さな取り組みではありますが、「子育てするなら奈良！」と思って頂けるように今後も知恵を絞りたいと思います。

市長ブログ、更新中！

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます！

携帯からもご覧いただけます。→

市長の日常をより身近に

ツイッター始めました。→ @nakagawagen

<http://www.nakagawagen.net/blog/>



プロフィール

1976年生まれ。北大和（現奈良北）高校卒。立命館大学経済学部卒業。国際石油開発帝石（株）及び奈良NP0センターでの勤務を経て2009年7月、脱利権・脱ムダを訴え33歳で奈良市長に当選。マニフェストである「行政のムダゼロ」「生活の不安ゼロ」「観光の渋滞ゼロ」をはじめ、入札制度改革や事業の見直し、民間委託の推進などにより就任3年で約67億円のコストカットを実現。市長退職金の不支給や外郭団体の整理統合、各種手当の大幅減額や廃止等、徹底したムダの排除に取り組んでいる。2011年「日本を立て直す100人」（AERA）に選ばれる。二児（3歳と0歳）の父として、子どもや孫の世代に責任の持てる政治をめざす。

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: info@nakagawagen.net

4月下旬から5月上旬の活動報告

24日(水)EV急速充電設備開所式@針テラス、柳生観光協会総会、アップル社ジョン・カウチ副社長ほか来訪
25日(木)定例記者会見、林家笑丸(奈良に住みます芸人)来訪、奈良地区保護司会総会、月ヶ瀬地域振興研修会
26日(金)朝の駅頭活動@新大宮駅、イクメン手帳打合せ、交通対策協議会・帯解地区万青クラブ・日赤奉仕団ほか総会
27日(土)第66回奈良県中学校選抜野球大会@鴻ノ池球場、第84回メーデー奈良地方大会、親族結婚式ほか
28日(日)10周年記念「赤膚町&月ヶ瀬 交流ふれあい市場」
29日(月・祝)狭川地区戦没者慰霊祭、奈良市文化協会・山の辺の道「奈良道」を守る会・消防友の会総会、教育委員面談
30日(火)庁議、情報システム最適化・給与カット方針ほかMTG、法令審査会外部委員への委嘱、藤本孝幸市議ほか来訪
5月1日(水)管理職会議、生駒市との消防共同運用・職場風土一新プロジェクトほかMTG、6月議会案件調整
2日(木)プロスポーツ支援方針・東部振興計画・観光協会夏キャンペーンほかMTG、災害支援ボランティアバス出発式
3日(金・祝)平城京天平祭2013 行列参加・「平城遷都之詔」奏上
4日(土)在宅作業
5日(日)NPO法人奈良まほろばソムリエの会設立総会
6日(月・祝)支援者挨拶回りほか
7日(火)庁議、地域ふれあい会館運用方針・火葬場移転問題ほかMTG、奈良市ボランティア連絡協議会ほか総会
8日(水)観光ボランティアガイドの会・竹村自治連合会長・坂上自主防犯防災会長来訪、奈良地区更生保護女性会総会



お茶会、はじめます

皆さんは日頃、奈良のお茶を飲んでいただけますか？奈良市の農業の特徴として、米（3年連続特Aランク取得）や伝統野菜、ヤマトポーク・大和肉鶏などの戦略商品が注目されていますが、その中でも特に注目すべきは「大和茶」の存在です。市内

でも月ヶ瀬や東部地区で品質の高いお茶が生産されていますが、独自のブランド力が弱く、「宇治茶」として販売されることも多々あります。生産量の減少と後継者不足で危機にある奈良のお茶を救うには、「奈良=お茶」というイメージを如何に広げ、より付加価値の高い商品を作り続けるかが重要です。

一方、茶道の世界では茶の湯を大成した千利休に次いで、奈良に縁のある村田珠光が「茶礼祖」として知られています。また世界遺産の社寺をはじめ、奈良町の旧家などにも茶室を持つ所がたくさんあります。そこでこれらの資源を活用した事業として、奈良市では今年度より大規模なお茶会事業を展開することにしました。お茶会と言えば京都の光悦会と東京の大師会の二大茶会が有名

ですが、そこに新たに参入し「日本三大茶会」をめざしたいと思います。この事業におけるお茶会の役割は、単に趣味人だけが集まるものではなく、お茶会を通して、お茶自身はもちろん、お菓子や料理など幅広い「関連産業」が「一流の目利き」に曝されることによって、奈良の観光インフラの底上げを図ることを期待しています。また閑散期と言われる2月に実施することで、観光業界へのカンフル剤にもなればと思います。

先日、ある方から羊羹で有名な虎屋と奈良の縁について伺いました。虎屋は奈良時代に起源があり、朝廷の菓子御用として活躍（一説では東大寺域内の水門の里黒川郷の出身）。平安遷都と共に京都に拠点を移したものの、現在もルーツである奈良「黒川本家」の葛を使っているとの事でした。また高天交差点近くの林神社（りんじんじゃ）は南北朝時代に中国から饅頭を持ち込んだ林浄因を祀っていることで知られています。このようにお茶やお菓子をはじめ、あらゆる日本文化のルーツが我が街にはあります。東京へのあこがれや京都との比較で奈良を見るのではなく、堂々と誇りを持って我が街・奈良を発信するきっかけをお茶会で創りたいと思います。



後援会からのお願い

毎週金曜日（午前7時～8時）は朝立ち（駅頭演説）を続けています。市民のみなさんと直接出会える貴重な機会だと思い、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力お願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」

であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報広聴課まで。

仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>

Email info@nakagawagen.net

FAX 0742-26-0398

ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街を一緒に創っていきましょう！

